

しもなかもなか 個展

SHIMONAKA MONAKA solo exhibition



逆立ちドローイング vol.2

Handstand drawing vol.2

KUNST ARZT では、昨年に引き続き、しもなかもなかの個展を開催します。しもなかもなかは、逆立ちドローイングをメインに展開するアーティストです。本展では、バランスを取りながら逆立ちした状態で、助手に口に咥えさせてもらった絵筆で描いた絵画作品とその記録動画をメインスペースで、逆立ちドローイングと同時進行で継続してきた、手で描いた「うねうね」シリーズの絵画作品群をサブルームで展示します。自由と不自由、口に咥えた筆と手、“うねうね”してしまう状況と“うねうね”させる状況など、2つの要素ならではの見え方があります。

(KUNST ARZT 岡本光博)



逆立ちドローイング 2019

略歴

1998 京都府生まれ

2019 嵯峨美術短期大学 卒業

〔個展〕

2017「毒展」嵯峨美術大学・短期大学 クラブボックス #205(京都)

2020 逆立ちドローイング展/KUNST ARZT(京都)

〔グループ展〕

2018「シリーズ絵画への意志」vol.73/ 嵯峨美術大学・短期大学 アートプレイス(京都)

2019 LA VOZ 25th EXHIBITION/ 京都市美術館別館(京都)

2020 LA VOZ 26th EXHIBITION/ 京都市美術館別館(京都)

2021 年 7 月 20 日 (火) から 25 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

逆立ちドロ잉 vol.2
Handstand drawing vol.2

アーティストステートメント

美大に在学時、「重力を活かした作品を作りましょう。」そんな課題が出た。
それ以来、私はしたい時に、したい場所で逆立ちドロ잉を行なっている。逆立ちをして、口に咥えた筆を動かす。
体のバランスをとりながらドロ잉をするのは、コントロールが出来ず、筆は想定外の方へ進む。その不慣れな感覚から、偶然が面白い線を生み出すのが、逆立ちドロ잉の良さだと感じている。



うねうね
2020

私が生み出した「うねうね」という形を様々なルール（縛り）を加えて制作した。色やサイズ、絵具やメディウムなどの素材、線と線を繋いで「形」としての確立を目指すなど、「うねうね」の展開を意識して制作した。
作品は完成順に、時計回りになるようにキャンバスを回転させて展示した。これは「うねうね」の進化のベクトルを表していると同時に、「究極の形とは、どこを向いていても究極の形である。」という訴えである。



個展「逆立ちドロ잉」
2020
展示風景

